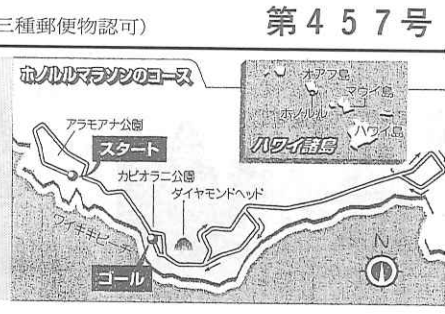
飾磨工業高校268名
ホノルルマラソン(42.195km)全員完走



月日	時間	日程(場所)	行　動
12月11日(土)	13:00	学校集合	パスポート確認
	13:30	バス乗車	
	14:00	岡山空港ロビー	
	15:30	関西空港ロビー	
	17:00	搭乗	岡山・関空より出発
	17:25		
			日付変更線通過
	19:00		
	6:00	ホノルル国際空港着	パスポート、米国出入カード、
	6:50		税関申告書、復路の航空券
	8:00	入国審査	
	8:30	バス	帰りの航空券等の回収
			ホノルル市内観光
			ヌアヌ・パリ、パンチボウルの丘、イオラニ宮殿、マジックアイランド、ダイヤモンドヘッド等
	13:00		カピオラニ公園
			マラソンのゴール地点の確認と休憩
		アラモアナホテル着	
	15:00	各部屋へ	
	16:00	夕食	
	17:30	マラソンの準備	ゼッケンをつける
	20:00	就寝	マラソン後の着替え等の準備
12月12日(日)	3:00	起床	
		朝食(各部屋)	
	4:40	体調チェック	
		ホテル出発	①出発時名列にチェック　カギ衣類預け
	5:00		②自分の目標タイムのスタートラインへ
		ホノルルマラソン	スタート
	18:30	ゴール	帽子を脱いで最高の笑顔でゴールしよう。
			バスでホテルへ戻る
	22:00	ホテル着	２Ｆカウンターで名列チェック
		夕食	高石ともや氏と時間を過ごしましょう。
12月13日(月)	7:30	起床	
	8:00	朝食	
	9:00	ロビー集合バス乗車	
	9:50	パール・シティー	
		ハイスクール着下車	国際交流
	13:00	バス乗車	Ａコース　バス６台
			ワイキキ　カラカウワァ通敬策
		ミニ・トリップ	Ｂコース　バス２台(３Ｓ必要)
			ハナウマ湾　カラカウワァ通敬策
		ホテル着	
	18:00	夕食	忘れ物のないように片づけよう。
	18:30	荷物の確認	・機内預けの荷物を作る
			・チェーンロックをかけない
	22:00	就寝	
12月14日(火)	6:15	起床	
	6:45	朝食	
	8:20	ロビー集合バス乗車	パスポート、搭乗券の受取
		８組から	
		２クラスごと	
	9:00	ホノルル国際空港着	
		ハワイ出国	
	11:00	搭乗	岡山・関空に向けて出発
	11:00		
			日付変更線通過
12月15日(水)	15:40	空港着	日本帰国の準備
	16:00	入国審査	パスポート、入国カード
		バス乗車	
	18:00	学校着	
	18:40	体育館前	
		体育館解散式	
	18:30	解散	

海外修学旅行を実施して

兵庫県立飾磨工業高等学校　教頭　芳木宏行

1　実施内容

(1)　行き先　アメリカ合衆国
　　ハワイ州　ホノルル市

(2)　期　間　平成11年12月11日(土)
　　～15日(水) 3泊５日

(3)　目　的　ア　生涯学習社会参画への基盤づくりとして、心身の健康管理を日頃から心がけ高校時代から取り組むための動機づけとする。

イ　外国の文化や生活に直接に触れ、人々と交流することで、豊かな国際感覚を育成する機会とする。

エ　個に応じた教育と体力の推進をめざし、青春時代の貴重なメモリアルを自らが創造する機会として、世界的イベントに自分の体力に応じた参加をする。

(4)　主内容　第27回JALホノルルマラソン参加
　　現地高校訪問交流
　　(パールシティ高校)

(5)　人員数　２年生　272名（男264名、女８名、在籍数274名中長欠者２名）
　　引率教員　13名

(6)　滞在先　ホノルル市　アラモアナホテル

2　事前指導段階

(1)　アンケート調査、

・生　徒；ほとんどが賛成、海外ハワイに行ける
・保護者；ほとんどが賛成、反対：海外の必要性なし、安全面等

(2)　意識づくり
・参加の仕方
・文化祭での取り組み
・マスコミの利用と芸能人等の自主的な協力

(3)　体力づくり
・トレーニング（体育の授業、ゆとりの時間の活用）
・自主活動（夏休み中の明石までの試走、放課後ランニング）

3　実施段階

(1)　事前検診等
　　学校医に適宜アドバイスをもらう

(2)　国際交流
　　前ALTの協力でパールシティ高校への訪問

(3)　協力者
　　同窓会やOBの協力、企業人・ハワイ在住者等

(4)　マラソンエントリー生徒269名(当日体調不調生徒１名は走らず)中、268名が全員完走！

(5)　パールシティ高校との国際交流では、大歓迎を受ける。

4　実施後

(1)　生徒の成就感（やったらできる）が窺えること。
・生徒が前向きになったこと。
・連帯感が生まれてきたこと。
・同じ痛みを味わったことから他者への思いやりの気運が生じたこと。

(2)　保護者から感謝されたこと。
・子供が自分の思いを親に話しだしたこと。
・親がこれを機に子供にアドバイスができたり、親としての心情が話題となる親子の会話ができるようになった。

(3)　生徒を信頼したこと。
・教員も初体験で未知の部分が多く、大枠の中で実施することになったが、当初から生徒の自覚と責任感が必要と指導はしていたが、生徒がこれに十二分に応えてくれた。
・１から10まで指示しなくても、自主範囲があることを自覚させてやれば、本校の生徒も充分やれることが実感できた。

(4)　沢山の皆さんからご支援をいただいたこと。
・ニュース性があったとは云え、励まし
・アドバイス・直接間接の支援を受けたことが成功に結びついたといえる。
・事前指導段階での協力者；T氏、H氏、K氏、Y氏、N氏、各マスコミ関係諸氏
　現地での協力者；全ALT、DrM氏、K氏、是川氏（本校OB、ハワイ在住）
等数え切れない皆さんのご協力ご支援をいただきました。

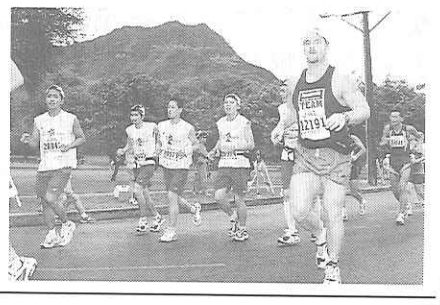
5　反省点と課題

(1)　安全面（航空便、現地、行事中）に関すること。
・通常の海外旅行の面
・マラソン参加の面

(2)　経費の問題
・生徒の旅行費用
・引率教員の費用

(3)　生徒への意識づけ
・他者からの支援に負うところが多かった。
・自前でどれだけやれるか。

(4)　無事がなにより
・初回にしてはできすぎ。
・このノウハウを今後にどのように活かすか。



修学旅行ハワイへ行って

吉田真寿美

一番思い出になったことといえば、やはりホノルルマラソンだ。その次に自由時間、そしてパールシティハイスクールだ。

修学旅行に行く前、ホノルルマラソンに参加するということを聞いた時、私は「四二・一九五kmなんて走れるだろうか」と不安に思った。しかし当日、実際に走ってみると意外と走りやすくて、一〇kmを楽に走ることができた。ハワイの気候がちょうど良かったらしい。走る前からいろいろな人とふれ合って会話したり笑ったりした。給水地点で小さな女の子がくれたチョコレートがとても嬉しかった。走り終わったあと、やりとげた充実感でいっぱいで嬉しかった。

自由時間もとても楽しかった。地元の人に道をたずねたり（もちろん英語で）値段を安くしてもらったりして、ハワイはいい所だなと感じた。ただ、ホテルにいるとき、カーチェイスがあったらしく、「こんなのんびりしたところでもこわいことはあるんだ」と思った。外国という感じをこの時味わった。

最後にパールシティハイスクール。友だちができた。先生に教わりながら英語で会話した。お互いの違いがわかって勉強にもなった。むこうの子は一五才だというのに大人っぽくてステキだった。また会えたらいいなと思っている。

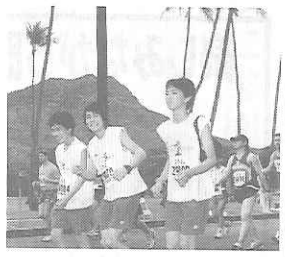
ハワイで苦しくてつらいこと（バス酔い）もあったけれど、楽しさの方が強く心に残っている。また行ってみたいと思うし、今度はゆっくりハワイを見てまわりたい。この修学旅行は、とてもいい思い出になったと感じる。

ハワイ最高

星山申成

一日目、ハワイに着いて観光をする。でも、飛行機の中で、ほとんど寝てないので観光どころではなかった。その夜、明日のホノルルマラソンの用意をして夜八時に寝た。

二日目、深夜三時にモーニングコールがなった。ユニホームに着がえて、おにぎりを食べて、スタート地点に向かった。いろいろな国の人が参加していて、変なかっこうをした人がたくさんいた。僕らは五時間程度を目標にした。いよいよスタート。花火が打ち上げられて、周りの人が騒いでいる。とても楽しそうだ。五分ぐらいまったく動かなくて、スタート地点に行くまで一〇分近くかかった。始めのうちはゆっくり走っていたけど、五K過ぎた所から一〇Kちょっとまでダッシュで走った。走っていると横で車イスの人がすごい早さで横を過ぎ去っていった。みんなが、いろんな人に対しても応援している。僕もそれを聞くと、なぜか走ってやろうという気がわいてくる。一五Kから走ったり歩いたりだった。Uターンの地点がとてもとても遠かった。Uターン地点だなと思ったら次は池をまわらなくてはいけなかった。死にそうだった。三〇K過ぎてからはもう足をあげようとするけどあがらない。それと気づいたことがウエストポーチは無意味、じゃまなだけだった。最後の上り坂と下り坂は、本当にゴールにつけるか不安だった。最後ゴールの直線ダッシュしたいけど前に進まない。ゴール前ではいろいろな人がゴールする人を応援している。その応援を聞きながらゴールした。ゴールしたときはなんともいえないほどうれしさがわいてきた。タイムは五時間三七分、自分でも驚くタイムだった。ゴールした後は、とてもすがすがしかった。ホテルに帰った後はつかれて寝ていた。でも友達がショッピングに行こうと言うのでいった。何もなかった・・・。ホノルルマラソンは、すごい思い出になった。

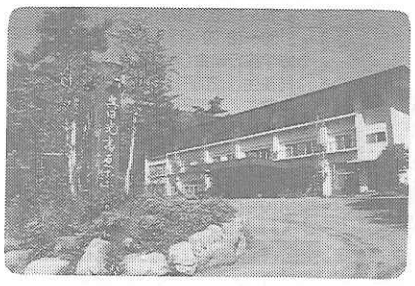


修学旅行について

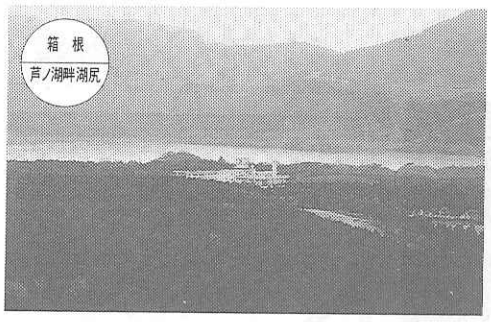
福田友規

僕は修学旅行にハワイに行く、と決まった時、はっきり言って嫌だった。なぜかと言うと、飛行機に乗るのがこわかったかというのと、ホノルルマラソンを走るというのが嫌だったからです。でも行ってみると、飛行機は少しよったけど、思ってたほどこわくはなかったし、ホノルルマラソンは、たしかにしんどかったし、足がいたくなったりもしたけれど、ゴールをした時に、本当に心の底から走ってよかったと思った。そのほかにも行ってよかったと思うことはたくさんあった。例えば、ミニトリップで海に行ったこと。少し寒かったけれど、けっこう楽しかった。少し海の底に石がゴツゴツしていていたかったけど、まあそれもいい思い出だなと思う。しかし僕は、初めてハワイに行って一つ思った。どうも外国に来ているんだと言う感じにならなかった。その理由は、街を歩いていて、日本人がよくいたし、店で買い物するときも、日本語でできた。おまけに、日本円まで使えたからでした。そういうこともあって、行く前の不安なんかは大丈夫だった。だから僕は、今はいい修学旅行だったなと思っています。

●修学旅行／林間学校／スキー体験学習
奥日光の自然と仲間たちとの語らい……



夏は林間学校、冬はスキー
自然探勝の基地として日光国立公園内にたつ当ホテルをご利用ください
鉄筋3階建／小学生550名／中学生550名／高校生450名収容／大浴場あり
奥日光高原ホテル
〒321-1662 栃木県日光市湯元温泉
TEL. 0288(62)2121(代表)



豊かな自然が息づく湖尻高原の中心。
箱根高原ホテルは、深い緑の中に
700名収容の大ホールや、
中小の研修室など、
数々の施設が整っています。
その他体験コースもいろいろ。
心にのこる想い出づくり
感動づくりに素晴らしい環境です。
湖尻高原の大自然に抱かれて
ハートフル・コミュニケーションをお約束します。
箱根高原ホテル
〒250-0500 神奈川県足柄下郡箱根町湖尻
☎(0460)4-8595㈹　FAX.(0460)4-9488

環境学習旅行ガイド⑰

大都会で学ぶ環境学習
人と自然、生活と地球環境を考える
「東　京」

《東京での環境問題とは》

今日の環境問題は、その影響が一地域に止まらず、地球的規模に広がり、更に将来世代にも影響を及ぼすことが懸念されている。

特に、東京を核とする首都圏は、人口三千万人を越える大人口密集地区であり、そこでの人々の日々の営みは、豊かさ、快適さ、便利さを求めて、大量生産、大量消費、大量廃棄を繰り返してきた結果、都市公害に代表されるような種々の環境問題を提起することとなった。

又、東京における環境問題への対応は、その規模、種類、範囲等から一地域、一事業体、一市民レベルで取り組めるものではなく、行政府（日本政府、東京都及び首都圏各自治体）と産業界合同レベル、更に地域住民と東京を訪れる内外の人々の共同による取組が必須となっている。

矢川緑地

《東京では様々な学習が可能です》

東京を環境学習の観点から捉えてみると、様々な学習ポイントを見つけることが出来る。

町の歴史は古く、今日まで四百年間、我が国の政治・経済・文化の中心的役割を果たしてきており、昨今、二十一世紀に向かって一極集中主義を解消しようと首都機能移転構想が具体的に構想されているが、今後も引き続き日本の中心的役割は求められているものと思われる。

東京の保持している様々な機能・能力・施設は大人口の人間の生きていく上で必要不可欠なものであるのだが、同時にかなりの部分が環境問題を呈している。

従って、東京での環境学習は、大都市東京の発展の歴史を探り、今日の姿を観察し、今日の抱える諸問題を的確に把握理解し、将来に向けた改善取組の現況と今後の展開を見聞することにより、この学習に参加した児童・生徒の将来への糧としていただきたいと考える。

《東京での環境学習ポイント》

◎エネルギーの有効利用について

〔例〕・臨海副都心での自然エネルギー利用について
・電力館（渋谷）での電力に関する様々な学習

◎水と緑の拠点整備と野生生物の保護について

〔例〕・東京湾三番瀬干潟でのラムサール条約に関わる学習
・東京湾野鳥公園（大井埠頭）での東京湾周辺に生育する野鳥の観察
・武蔵野の雑木林保全についての学習
里山散歩（野鳥・昆虫・草花観察）
雑木林保全作業体験（下刈り、落ち葉かき）

◎江戸から東京へ、首都の歴史を探る

〔例〕・江戸東京博物館での東京の移り変わりを学習
・深川江戸資料館での江戸時代の庶民生活についての学習

◎その他、東京で可能な環境学習

〔例〕・町並みウオッチング（台東区谷中他）
・騒音測定の騒音対策
・ボランティア活動

◎省資源、廃棄物対策について

〔例〕・ごみ処理システム、清掃工場、リサイクルについての学習
・臨海副都心（有明処理場、水の科学館、有明給水場）での上下水道に関する総合的学習
・早稲田商店街における「エコ」から「まちづくり」についての学習

◎円滑な都市交通の確保について

〔例〕・交通管制システム（警視庁）についての学習
・地下鉄博物館での大都市公共交通機関に関する学習

ハイブリッドバス

《東京都環境学習センター》

東京都では、子供から高年齢者まで環境を楽しく学び、考える学習の場として「東京都環境学習センター」を設置している。

ここには、図書コーナー、ビデオコーナー、パソコンコーナー、展示コーナー、体験コーナー、研修室があり、東京及びその周辺における環境に関わる総合的な学習が出来る。

大和路遍歴(34)
――當麻路（上）――

當麻寺と二上山

……當麻蹶速（たいまのけはや）と野見宿禰（のみのすくね）とに角力（すまひ）らしむ。

垂仁天皇七年（紀元前二三年）七月、初の天覧相撲が行われたことを日本書紀が伝える。

その結果、當麻蹶速は敗死し、後に五輪塔が造られた。近鉄當麻寺駅から當麻寺への道筋に今も残る**蹶速塚**である。

……伝承の上では、蹶速は高慢な人のようだが、実際は都ずれしない素朴で野生的な性格のため、当地の人々からかえって親しみをもたれた。石塔は田畑の中に鋤かれることなく、現在まで貴重な遺跡として残されている。

蹶速塚の説明である。

當麻路は訪れる人々にやさしい道だ。電柱や、道の所々にある下水の蓋にまで牡丹や塔の絵が描かれて、心が和む。

……勝者に拍手をおくるのはよい。だが、敗者にもいっきくの涙をそそぐべきではないか。

塚の説明板は、またこのように続ける。ぬくもりが心に伝わる。

塚の隣に**當麻町相撲館**が設けられ、「けはや座」とも呼ばれている。

相撲館の中は、安永九年（一七八〇）十月場所の江戸相撲番付表をはじめとする歴史的な資料、歴代名力士の手形や化粧まわし、開け荷など、多くの貴重な展示品で囲まれている。

不世出の名横綱双葉山が安芸海に七十連勝を阻まれたパネル写真も、年配の人達には懐かしいものだ。昭和十四年春場所四日目、ラジオの報道が全国を駆けめぐった。

相撲館で特筆すべきは、本場所と同じ大きさの本格的な土俵が設けられていることだ。来館者は男女を問わず土俵にあがることができる。東西両側に桟敷席が設けられているのも、心憎い心配りだ。

近代設備らしく、大スクリーンも設けられ、立体映像「けはや物語」が上映されている。

相撲館から當麻寺までは数分の距離である。

寺伝によれば、**當麻寺**は、聖徳太子の弟麻呂皇子建立の禅林寺を、その孫にあたる當麻国見が天武天皇十年（六八一）、当地に移建したと伝えられる。

昭和三十三年の曼荼羅堂解体修理の際の地下調査で、藤原宮や本薬師寺に共通する瓦の断片が出土し、草創の時代が実証されたという。

いずれにせよ、當麻寺は、當麻氏の氏寺として造立され、奈良・平安時代には伽藍も整備された。治承四年（一一八〇）の平重衡による南都焼討の余波を受けて講堂等が炎上したが、当麻寺が廃寺にならなかったのは、空海留錫以来の真言宗の大師信仰と、中将姫伝説の曼荼羅図による浄土信仰の力であった。

……国ごとに阿弥陀浄土の画像を造り奉る。仍て国内の見にある僧尼を計へて称讃浄土経を写さしめ、各国分金光明寺に於て礼拝供養せしむ。（続日本紀）

天平宝字四年（七六〇）七月、光明皇后の四十九日法要の記事である。

當麻寺の本堂は曼荼羅堂（国宝）である。本堂本尊は、當麻曼荼羅と呼ばれる浄土変相図で、観無量寿経に説く西方浄土を描いたものである。

當麻寺曼荼羅堂

続日本紀が伝える諸国の曼荼羅図は、當麻寺だけに残った。国宝に指定されている綴織當麻曼荼羅図は、現在は公開されていないが、永正二年（一五〇五）完成の絹本著色の文亀曼荼羅（重文）が本堂の厨子に掲げられている。

當麻寺縁起（重文）によれば、中将姫は藤原南家の豊成の娘であったが、継母の迫害から逃れ、十七歳のとき、称讃浄土経千巻を當麻寺に納め、その後阿弥陀如来と観音菩薩の導きによって蓮糸で曼荼羅を織り上げたと伝えられる。

世阿弥による謡曲「當麻」（室町時代）をはじめ、近年では折口信夫の「死者の書」など、中将姫伝説は、古来より多くの文学に取り入れられた。

二上山を背に、円く小さな麻呂子山のふところに抱かれた當麻寺は、飛鳥からは離れているが、古代より、奥深さと歴史をもった大和の一大寺院である。

……寒牡丹　人のぬくもり　當麻みち

（全修協大阪・北條直樹）

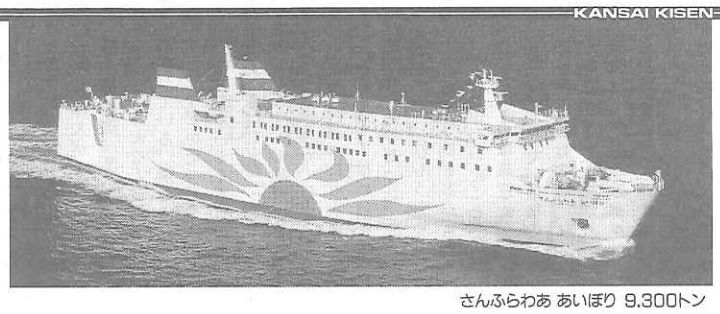
楽しみながら歴史が体験できる大型テーマパーク。

時代村キャラクター「ニャンまげ」

株式会社時代村では、４つの時代村を体験学習ができる「礼節研修道場」と位置づけています。日本人が誇りとしていた美徳や作法。礼節がひとつの文化として確立した江戸時代に学ぼう、を合言葉に時代村全体を、目で見、肌で感じ、楽しく学べる施設として、教育にご利用いただけるよう、時代村を運営しています。

日光江戸村 0288(77)1777 | 登別伊達時代村 0143(83)3311 | 伊勢戦国時代村 0596(43)2300 | 加賀百万石時代村 0761(75)1777

東京案内所 03(5802)1777／大阪案内所 06(6394)4638／名古屋案内所 052(933)1085／札幌案内所 011(222)3080

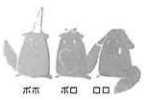


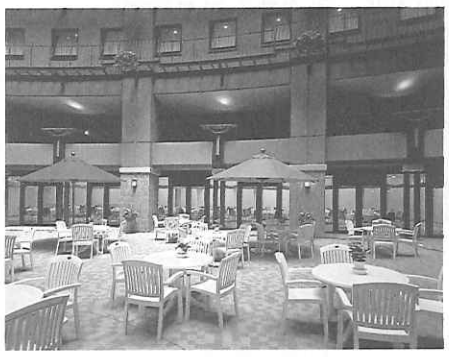
さんふらわあ あいぼり 9,300トン

直行便：大阪南港 ⇄ 別府
松山寄港便：大阪南港・神戸 ⇄ 松山 ⇄ 別府
※松山寄港便「上り」は、神戸に寄港致しません。

関西汽船
大阪支社　大阪市港区弁天6-7-15　☎(06)6574-8500
東京駐在　東京都中央区八丁堀4-10-1甲東ビル804号　☎(03)3523-5530

ホテルポポロ東京
近畿日本ツーリストが自信を持って送り出す。
ユニークで新しいタイプのホテル…
それが『ホテルポポロ東京』です。

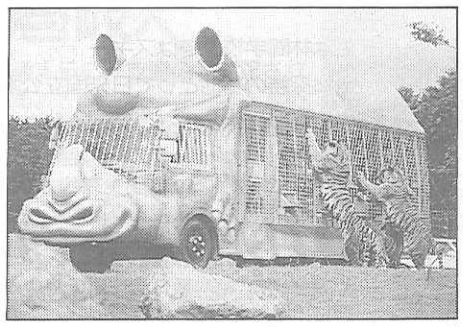

ホテルポポロ東京のマスコットです。　ポポ　ポロ　ロロ


中庭『パティオ』

日本では珍しい地下４階中庭『パティオ』
見上げればそこには吹き抜けの空間。お食事は『パティオ』を望みながら大宴会場『エパンターユ』にて！
都心のホテルでは珍しい屋上『純和風大浴場』
ホテルにいて温泉旅館にいる様なそんな気分になれるお風呂です。

近畿日本ツーリストグループ
ホテル ポポロ東京
〒141-0031 東京都品川区西五反田6-13-1
Tel 03・3779・6100　Fax 03・3779・2070
インターネット　http://popolo.knt.co.jp/
Eメール　popolo@popolo.knt.co.jp

動物たちとふれあいながら楽しく学ぶ。


ジャングルバスチャーター料金1台17,000円(通常21,000円・定員30～35名)

●営業受付時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金（消費税含む）
高校生 1,200円　中学生 900円
小学生 800円
※ガイドラジオ バス1台につき1,100円

九州自然動物公園
アフリカンサファリ
〒872-0722 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
TEL(0978)48-2331代　FAX(0978)48-2330